

プロネクサスベトナム現地レポート

(2020年8月 VOL.1)

プロネクサスベトナムが、ベトナム現地情報をお伝えいたします。

初回のテーマは、ベトナムへの海外からの直接投資（Foreign Direct Investment 以下、FDI）の動向についてレポート致します。FDI 投資件数の統計データは、日系企業のベトナム進出動向を計る指標となるため、毎月定期的にレポートして参りたいと思います。

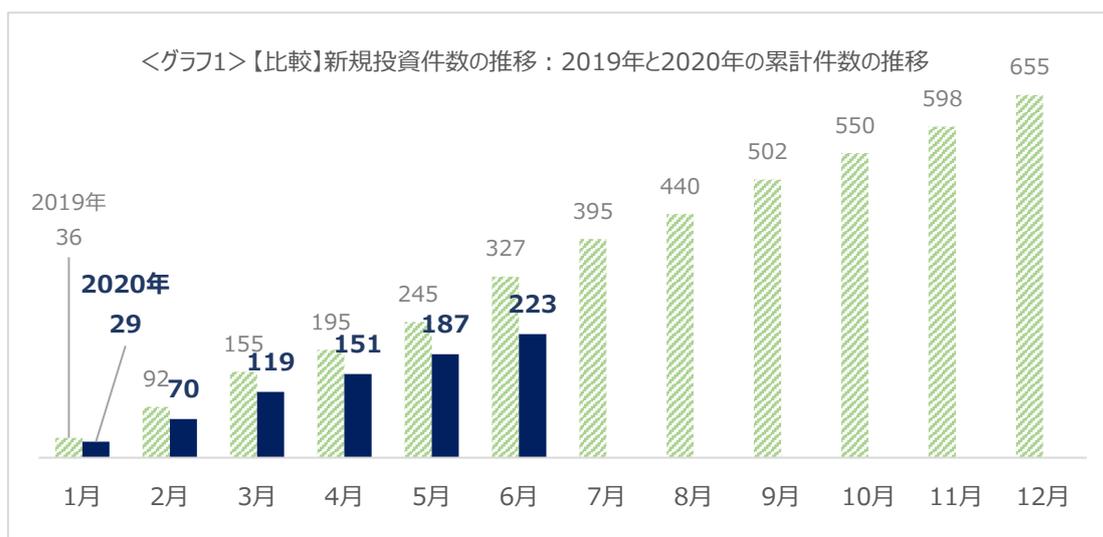
全世界猛威を振るっている新型コロナウイルスの影響で、日本のベトナムへの FDI 投資件数ならびに投資額は前年の同時期と比較して減少傾向にあります。

【FDI 動向の概要：2020年上半期（1月～6月）】 *6月の数値は、2020年6月20日時点の速報値

【1】日本の対越投資動向

- 日本の2020年1月から6月までのFDI投資額は約14億6,410万USドル。（*2019年同期間：約19億5,024万USドル、75.07%）
- 日本の2020年1月から6月までのFDI投資件数は、586件。（*2019年同期間：701件、83.59%）
- 証券投資件数を除いた日本の2020年1月から6月までのFDI投資件数は、223件。（*2019年同期間：327件、68.19%） * <グラフ1> 参照

*証券投資を除くFDI投資件数の統計データは、会社設立や増資等の日系企業の直接的な進出動向の判断指標の一つとなる数値です。



データ引用元：ベトナム外国投資庁

【2】世界の対越投資動向

2020年6月現在、海外からのベトナムへの直接投資は、98の国と地域から投資が行われており、投資金額・投資件数の上位5か国は以下のとおりです。

■投資金額の上位5か国（金額：USドル）

1位	シンガポール	約54億
2位	タイ	約15億
3位	中国	約15億
4位	日本	約14億
5位	韓国	約14億

■当件数の上位5か国（件数）

1位	韓国	1,785
2位	中国	943
3位	日本	586
4位	台湾	439
5位	シンガポール	432

*データ引用元：ベトナム外国投資庁

*「新規投資の金額・件数」「追加投資の金額・件数」「証券投資の金額と件数」の合計で順位を算出（2020年1月～6月）

- ▶ 投資金額の1位であるシンガポールは、液化天然ガス（LNG）の発電所プロジェクトの約40億USドルの大型投資が寄与。
- ▶ 投資金額の2位であるタイは、ロンソン石油化学コンビナート建設プロジェクトで約13億USドルの大型投資が寄与。
- ▶ 上記の大型プロジェクトなどがFDI投資金額全体を下支えしており、全世界からのベトナムへの投資金額は、対前年同時期と比較して84.85%で推移。

*引用元：ベトナム外国投資庁

【3】新型コロナウイルスの影響

- 6月にはベトナムでの生産体制の維持・拡大支援のために、優先的に韓国・香港・日本から、数千人規模のビジネス関係者の入国を許可し渡航が実現したものの、ベトナムへの出張者（ビザなしの短期滞在者）の渡航については、依然として困難な状況が続いている。
- 新規投資における現地視察、新規投資への意思決定、既存のプロジェクトへの追加投資決定などに関し、依然として新型コロナウイルスの影響は大きい。徐々に落ち着きを見せているものの、下半期におけるFDI投資についても、新型コロナウイルスの影響を受けるものと思われる。

*引用元：ベトナム外国投資庁

【Disclaimer】

- 本資料は、情報提供を目的として作成しております。
- 本資料に記載の情報は、会計・税務・法律上の観点からのアドバイスを含むものではありません。
- インターネット上を含む、一切の無断転載を禁止しております。
- 本資料の情報は、株式会社プロネクサスが作成元より提供を受けており、著作権は、原則として作成元に帰属します。いかなる目的でも、本資料の一部または全部を無断で使用すること、または、いかなる方法で複写、複製、引用、転載、翻訳、貸与などを行うことを禁止しております。
- 本資料に記載された情報は、作成元が信頼できると判断したものを根拠として作成を行っておりますが、その内容の正確性、信頼性、完全性を保証するものではありません。弊社および作成元は、当該情報に起因して発生した損害について、その内容の如何に関わらず、一切の責任を負いません。